



「自走する校内研修」を デザインする

「一斉研修」から「個別最適な研修」へのトライアル

戸田市立戸田中学校

戸田中学校 3年間の研究（令和4～6年度）

1「最上位目標」

私たちは
何のために
学ぶの？

スタッフみんなで考えた「目指す生徒像」

自ら人生を切り拓く生徒

全員が学びを生かして各自実践し、最上位目標の達成を目指します！

2「研究主題」

どのような
仮説を基に
学ぶの？

対話的・協働的な学びが、 非認知能力を高め、学力を伸ばす ～PBSからPBLへ～

「生徒を主語」とするための教師の学びを積み重ねます！

3「校内研修」

教師の学び
の準備は？

研究推進委員会による主体的な教師の 学びを生み出す校内研修の企画・運営



研究を進める中で分かった課題～校内研修の高度化へ～

研究1年目（令和4年度）の検証

2つの研修～PBSとPBL～

- ・ **外部指導者による「刺激」が効果的。**
これまでの「先の見えない研究」が外部指導者によって価値付けられ、成果や課題をつかむことができた。
- ・ PBLは全員で概念を学んだが、実践に向けて**引き続き外部指導者**を設定。
- ・ キャリアの違いによって課題が異なる。
個々のニーズに応じた研修が必要。



「一斉型の研修」だけでは、必要な学びを実現できない！

研究2年目（令和5年度）の状況

3つのコア研修へ拡大

- ・ **PBS研修を若手教員向けにリモデル。**
- ・ PBL研修は、各学年の担当が指導者とやりとりして、**PBLを自走**していく。
- ・ **学校課題研修**を新たに設定。年度当初にアンケートをとり、自ら学びたいテーマを出し合った。**教員と指導者が対話する機会**を定期的にもつ。



伴走者の支援を受けつつ、「個別最適な研修」に挑戦

来年度の取組～個別最適な研修で最上位目標の実現へ～

PBL研修の進め方

3年間の研究のステップ

「助走」



<研究1年目（令和4年度）>

- ・キャリアリンクから指導者を招聘する
- ・3回の全体研修でPBLの基礎を体験を通して学ぶ
- ・次年度の総合カリキュラムにPBLの導入を試みる

「伴走」



<研究2年目（令和5年度）>

- ・総合担当を中心とした伴走型の学びにシフトチェンジ
- ・総合のPBLを試行→検証→改善のサイクルを進める
- ・委員会活動へPBLのエッセンスを加える

「自走」



<研究3年目（令和6年度）>

- ・スタッフが自らPBLを研究する資質を身に付ける
- ・2年間の研究を踏まえた戸田中型PBLを確立する
- ・プロジェクト型委員会活動を一層推進する

学校課題研修の進め方

学校課題研修「3つの学び」

「チーム」



<「主体的・対話的で深い学び」を促す授業改善>

- ・福井大学（教職大学院）から指導者を招聘する
- ・複数教科等で編成したチームによる研究の推進
- ・理論と実践の往還を体験・体感

「育てる人」



<管理職や養護教諭の研修>

- ・福井大学（教職大学院）から指導者を招聘する
- ・学び続ける教師を育成するための管理職向け研修
- ・生徒の育成を支える養護教諭のための研修

「もっと外へ」



<先進事例を学ぶ機会の設定>

- ・各分掌のリーダーが先進校や先進施設を視察する
- ・得た学びを校内で共有する
- ・自身のライフステージに応じた学び方を発見する